

氏名	木野山 眞 吾
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙 第1640号
学位授与の日付	昭和61年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	Ultrastructural observation of α -fetoprotein producing cells in human hepatocellular carcinoma using immunoperoxidase methods—Comparison with fetal liver — (酵素抗体法による原発性肝細胞癌における α -フェトプロテイン産生細胞の超微形態的観察—胎児肝との比較—)
論文審査委員	教授 木村郁郎 教授 太田善介 教授 粟井通泰

学位論文内容の要旨

原発性肝細胞癌における α -フェトプロテイン(AFP)産生細胞の超微形態像を酵素抗体法を用いて明らかにし、さらにAFP産生胎児肝細胞とAFPの細胞内局在部位や分布形態について比較、検討した。AFP陽性の特異的酵素反応産物は、これら細胞内の粗面小胞体、膜結合リボソーム、核膜腔、ゴルジ装置に明瞭に観察され、肝癌細胞と胎児肝細胞内でAFPの局在小器官には差を認めなかった。また超微形態的にもAFP非産生細胞と比べ特徴的な所見は観察されなかった。しかし、AFPの細胞内小器官への分布形態についてみると、胎児肝では、ほとんどの肝細胞で層状に発達した粗面小胞体やゴルジ装置に強くびまん性にAFPの局在が観察されるのに対し、肝癌では各々の癌細胞や症例間によってもAFPの局在部位や反応産物の強さの異なった種々の細胞が認められた。以上の結果から肝癌組織内AFPは、明らかな超微形態的特徴を持った細胞によって産生されているのではなく、また胎児肝細胞と比べよりheterogenousな細胞によって産生されていることが示唆された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査の結果の要旨

本研究は酵素抗体法による原発性肝細胞癌における α -フェトプロテイン産生細胞の超微形態を胎児肝と比較観察したものであるが、従来十分検討されていなかった肝癌組織内における α -フェトプロテイン産生についての超微形態的観察を行うことにより、本物質

は明らかな特徴をもった細胞によって産生されているのではなく、胎児肝細胞と比べて heterogenous な細胞によって産生されていることを認め、重要な知見を得たものとして 価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。